

警備業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	16~17	車両から降りる際、入金機カセットを持って降り、地面に着地したときに足元を確認せず降りたため、コンクリートの段上（3cm）に足が引っ掛かり、足を捻って後ろ向けに転倒し、右足首を骨折した。	55	100～299
3	11~12	工事現場にて警備をしていた際、業務でカラーコーン2つを仮設足場の上に設置した後、仮設足場から降りる時に仮設足場（歩道から約1mの高さ）に座り歩道に飛び降りたところ、着地した際に腰のあたりがグギっとなり、体勢をくずして臀部から転倒した（第二腰椎圧迫骨折）。	68	10～29
5	20~21	バックヤード内にて、飲料水を積んだ荷物用カートを移動中、カートへ背中と首を接触した。痛みと違和感を感じたが、直ぐに治ると思いそのまま下番まで勤務を継続したが、帰宅後に痛みが強くなった。	75	30～49
5	16~17	外通路で移動中に縦20cm、横60cm、高さ80cmの白い仕切りに、話に夢中で前を見ていなかったためにぶつかり、転倒した際に左手をつき、右肘を強打した。	24	10～29
5	4~5	中学校の巡回警備中、深夜に警備車両を停止し駐車場にて仮眠休憩をとるため、運転席のシートを倒して仮眠をとり、朝方に車両シートを引き上げ、仮眠休憩を終えて起き上がる際に、車両のハンドルに右足指を打ちつけ負傷した。	49	100～299
6	16~17	放置自転車撤去作業に従事中、搬送のトラック荷台から飛び降りた際に、踵を痛めて負傷した。	61	50～99
	9~	道路での勤務に就いた時、ダンプの荷台から飛び降りた際、路上アスファルトに右		50

6	10	足かかとを強打し、骨折をしてしまった。	63	～ 99
6	10～ 11	施設警備業務従事中の休憩時間に、健康診断を受診する為、検収口の荷捌きから牛乳ケースの空箱に足を掛けて降りようとした時、足を踏み外して転倒した。転倒した際にレントゲン車のドアの部分で右額を切り、出血した。救急車を呼び、搬送してもらった。	62	～ 299
7	11～12	交通誘導業務の休憩中、座って水分補給を行い、立ち上がったところ、立ち眩みがし、後方にある鉄板に背中をぶつけ負傷したもの。	72	～ 99
7	3～4	補修工事の鉄筋を現場の所に持っていき、トラックより降ろそうとした時に、誤って、鉄筋が落ちてしまい、右腕を打撲。	40	～ 49
7	11～12	草刈作業の交通誘導をしている時、側道の段差に気付かず、つまずき負傷したもの。安全靴を装備させ、目視で安全が確認できない所は、歩かないと、指導するもの。	58	～ 29
7	13～ 14	工事機材をパワーゲートで積んだ後、パワーゲートを降ろさずに飛び降りたところ、着地の際に左足膝部をひねって受傷する。尚、当社では交通誘導以外での業務を禁じており、受傷者本人も承知していた。	32	～ 99
7	14～ 15	U字溝（道路端にある連結式の排水溝）の工事で、歩行者誘導中、U字溝の蓋の角に右足をとられて躓いた際に打撲被災した（鉄製安全靴装備）。被災後も勤務をしており、当初は何ともないと思っていたが、次第に痛みが出てきた。	53	～ 299
9	9～ 10	待機所としているアパートの玄関から出た時、玄関前の段差（高さ約20cm）を踏み外し、左足を骨折した。	38	～ 499
10	10～ 11	現場に到着し、原付バイクを停める際、誤って体勢を崩し、車の荷台に手をついたときに左手親指を負傷した。	61	～ 49

10	13～ 14	矢板を取ろうと車の荷台に上がり、矢板を持って降りる際、荷台から飛び降りて着地した時に右足をくじき骨折した。	55	30 ～ 49
11	15～ 16	お客様店舗の作業終了後、搬入口のプラットホームから右足を捻った状態で着地し、全体重が乗り激痛が走った。	46	100 ～ 299
11	21～ 22	勤務先の防災センター内で無人防犯センサーの設定確認作業中、転倒しないランプがあり、その隣のランプを確認しようとした。その際ランプが上の方にあり、見にくかった為、背伸びをしていたらバランスを崩し、滑って近くの机に右足をぶつけた。その後、数日たっても痛みがひかなかった為、後日に受診した。	63	100 ～ 299
11	13～ 14	芝刈り現場にて交通誘導に従事していた。昼食後、午後からの作業準備のため、資機材を取ろうと作業車両荷台に上がろうとした際、足を滑らせ左脇腹をトラックの荷台の一部分のあおり手すりにて強打した。当日は打撲程度と思い通院しなかったが、後日救急搬送され、骨折との診断を受けた。	42	100 ～ 299
12	18～19	事業所1階にて、売上金バッグとカセットを積載したUT台車を精査端末間通路を引いて運搬していた所、左手側にあった紙幣計算機の角にぶつけて裂傷した。	53	300 ～ 499
12	22～23	倉庫内で、高所に設置されているシャッターのセンサーを点検しようと、脚立に登っている途中で足を踏み外し、後頭部から落下しそうになったため、頭部からの転落を防ぐためにそのまま脚立から飛び降りた際、左足で着地した。	52	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html